

れきしみち

2022.7
No.125

P2
特集

特別展

怖い浮世絵

P7
… 特別展開連イベント、トピックス

P8
… ナイトミュージアム紹介、市民ギャラリーよりお知らせ

P6
連載
「安城歴史散策風を感じて歴史を歩く11」

P4
連載
大河ドラマ「どうする家康」にむけて
特別展「家康と一向一揆」ただいま準備中



ANJO CITY MUSEUM OF HISTORY
安城市歴史博物館

れきしみち No.125 令和4年7月発行 編集・発行 安城市歴史博物館

(指定管理者：安祥文化のさと地域運営共同体)

安城市歴史博物館 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地 TEL 0566-77-6655

夜の博物館に行こう！ 「ナイトミュージアム」

8月26日(金)～8月28日(日)

8月26日(金)～8月28日(日)の3日間は安城市歴史博物館、安城市民ギャラリー、安城市埋蔵文化財センターを夜8時30分(入館は夜8時)まで開館します！(※通常は夕方5時まで) 期間中は様々なイベント、アート企画、博物館ナイトツアーをおこないます。ぜひ夜の博物館にお越しください！

毎年人気の ドキドキ・わくわく 博物館ナイトツアー

夜の常設展示をめぐります。昼間とは違ったドキドキ感をお楽しみください。

[開催日] 8月27日(土)、28日(日)
①18:00～ ②18:30～
③19:00～ ④19:30～

[会場] 歴史博物館2F 常設展示室
[定員] 各10名(先着順)
[参加費] 1人200円(ミニ灯笼のお土産付き)
[対象] 3才以上
[申込み] 8月9日(火)9:00～電話受付開始



歴博宵語り「怖～い浮世絵展 展示解説」

特別展「怖～い浮世絵展」の展示作品を学芸員が解説します。

[開催日] 8月26日(金)
①17:30～ ②19:00～
(※1時間程度)

[会場] 歴史博物館 企画展示室
[定員] 各15名(先着順)
[参加費] 展示観覧料600円(中学生以下無料)
[申込み] 8月6日(土)9:00～電話受付開始



歌川国芳
「相馬の古内裏・滝夜叉姫と大骸骨」

山口晃司 三味線コンサート

超絶技巧の演奏で注目を集める三味線奏者・山口晃司のステージです。

[開催日] 8月27日(土)
17:30～18:30

[会場] 安祥城址公園
※雨天時会場変更

[出演] 山口晃司
(世界最速の三味線奏者)

[いす席定員] 30名(先着順)

[申込み] 8月12日(金)9:00～電話受付開始



土器ドキ晩ゴハン

火きり杵と臼で火おこしし、復元弥生土器でご飯を炊きあげます。豚汁も配布します。

[開催日] 8月28日(日) 17:30～19:30

[会場] 歴史博物館前 ピロティ

[定員] 家族がグループ5組
(1組5名まで/先着順)

[参加費] 1人100円

[申込み] 8月7日(日)9:00～電話受付開始



安城芸妓衆 踊り披露

安城芸妓衆の皆様による唄や踊りを披露します。

[開催日] 8月28日(日)
18:00～18:30

[会場] 安祥城址公園
※雨天時会場変更

[出演] 安城芸妓衆
[いす席定員] 30名(先着順)

[申込み] 8月14日(日)9:00～電話受付開始



謎とき

埋文クエストー鹿乗王と聖なる高坏ー

弥生時代にカノリのムラを治めた偉大な王の高坏を見つけ出そう！

[開催日] 8月26日(金)・27日(土)

①17:00～ ②17:30～ ③18:00～
④18:30～ ⑤19:00～ ⑥19:30～

[会場] 埋蔵文化財センターほか

[定員] 各6キット(先着順)

[参加費] 1キット/100円

[難易度] 小学校3年生以上

[申込み] 8月10日(水)9:00～電話受付開始

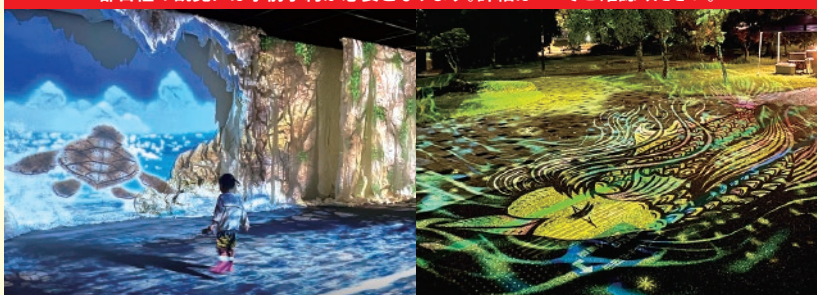
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員数・開催方法や日時・内容等を変更する場合もありますので、最新情報はHPにてご確認ください。

お問合せ／お申込み 安城市歴史博物館 TEL:0566-77-6655

安城市民ギャラリーよりお知らせ

市民ギャラリー企画展 光の切り絵展～いつもはじまり～

一部日程の観覧には事前予約が必要となります。詳細はHPでご確認ください。



高知和紙に切り絵を投影する「はじまりの門」。光の当たり方で見え方が変化する「一画二驚(いちがにきょう)」など、驚きと優しさに溢れた切り絵作品をご覧ください。

ナイトミュージアム期間中の日没後には、施設内や屋外の建物壁面に作品を投影する「幻灯空間」も開催します。

[開催期間] 令和4年8月13日(土)～8月28日(日)
[時間] ◎8月13日(土)～8月25日(木)
9:00～17:00(入館は16:30まで)
◎8月26日(金)～8月28日(日)
9:00～20:30(※開館延長/入館は20:00まで)
[会場] 市民ギャラリー展示室 全室
[観覧料] 500円(中学生以下無料)

安祥文化のさと

「安祥文化のさと」とは安城市にある松平氏四代50年の居城跡を整備した安祥城址公園一帯の名称です

[全館共通事項]

住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12/28-1/4)

安城市歴史博物館 開館時間 / 9:00～17:00
TEL:0566-77-6655 FAX:0566-77-6600

安城市民ギャラリー 開館時間 / 9:00～17:00
TEL:0566-77-6853 FAX:0566-77-4491

安城市埋蔵文化財センター 開館時間 / 9:00～17:00
TEL:0566-77-4477 FAX:0566-77-6600

安祥公民館 開館時間 / 9:00～21:00
TEL:0566-77-5070 FAX:0566-77-6062

公式HP、SNSもご覧ください

安城市歴史博物館 URL / <https://ansyobunka.jp/>





左 月岡芳年「新形三十六怪撰 老婆鬼腕を去る図」明治22年(1889)

「新形三十六怪撰」は月岡芳年による全36点の妖怪画の連作です。笑いながら飛び去る老婆。実は羅生門にすむ鬼の茨木童子が化けた姿でした。源頼光四天王の一人である渡辺綱に片腕を切り落とされましたが、綱の伯母に化けて綱のもとを訪ね、まんまと腕を奪い返したのです。

ダークヒーロー見参！

妖術使いは、蝦蟇や骸骨はたまた蜘蛛などの化け物を自在に操ることができます。父親である平将門の遺志を継ぎ謀反を企てる滝夜叉姫や、親の仇を打つために暗躍する若菜姫、お互いの力を競い合う妖術使いや、蝦蟇の妖術を用いる盗賊の児雷也など悪役とヒーローのどちらもこなす「ダークヒーロー」として大活躍します。

妖術使い達の物語は、読本や歌舞伎、浮世絵で大きく花開き、その怪しげな魅力に多くの人々は熱狂しました。



歌川国芳「相馬の古内裏・滝夜叉姫と大骸骨」弘化2-3年(1845-46)頃

滝夜叉姫は山東京伝による読本「善知鳥安方忠義伝」の登場人物で、平将門の遺児とされる伝説の妖術使いです。この作品は下総国相馬(茨城県)の古内裏で滝夜叉姫(左)と大宅太郎光国(中央)との対決の場面です。滝夜叉姫が操る大骸骨が御簾を破って半身を乗り出すダイナミックな構図で描かれています。

今回の特別展では、総点数107点の作品の妖怪や幽霊・お化けが皆様のお越しを、首を長くしてお待ちしております。暑い夏、怖～い浮世絵を見て涼を感じてみませんか。

右 歌川芳藤「五拾三次之内 猫の怪」弘化4年(1847)

化け猫は、人間に化けて行灯の油をなめたり、ねずみ年生まれの人間を食い殺したりすると言われています。

岡崎の化け猫は特に有名で、歌舞伎や浮世絵に登場しました。「寄せ絵」と呼ばれる手法で、大小9匹の猫によって巨大な化け猫の顔を形作っています。

妖怪とは、科学では解明できない不思議な現象や怪しい存在のことを言います。特定の人への恨みをはらす幽霊とは異なり、現れる場所や時間を決めて出現します。災いをもたらす悪い妖怪がほとんどですが、中には人を助ける良い妖怪もいます。浮世絵で描かれた妖怪はその後の漫画やアニメにも大きな影響を与えました。今回の展示では、様々な妖怪の姿だけでなく、ユーモアあふれる姿の妖怪などが大集合します。

妖怪



盤礫居「妖怪嫁入り絵巻」(部分)

江戸時代後期の文化・文政期(一八〇四～一八三〇)に怪談ブームが起こりました。「百物語」という怪談会が流行し、読本や歌舞伎の題材として怪談物は人気のジャンルとして確立しました。庶民に親しまれた浮世絵も例外ではなく、葛飾北斎や歌川豊国・国芳などの人気絵師がこぞって幽霊や妖怪を題材に取り上げました。絵師たちはその豊かな想像力で、幽霊や化け猫などの妖怪と、いった怪異たちを恐ろしく、時にはユーモアあふれる姿で描き出しました。

今回は、展示でご紹介する数多くの幽霊・お化け・妖怪の中からほんの少しご紹介していきます。文責・野上真由美

ヒーローたちの大活躍

人々に災いをもたらす奇妙な現象に立ち向かう英雄たち。恐怖に立ち向かう勇敢な姿は古くから多く描かれてきました。江戸時代後期には、読本のテーマとして歴史に上実在した人物によるお化け退治が盛んに取り上げられ、読本を基にした浮世絵も数多く出版されました。特に、歌川国芳は武者絵を得意としました。武蔵坊弁慶や宮本武蔵などが様々な怪異に挑む姿は当時の人々の心をワクワクさせました。



月岡芳年「播州姫路於佐壁狐を宮本無三四が退治せん」文久3年(1863)

姫路城の天守から、夜な夜な発せられる怪しげな光。宮本武蔵(無三四)が確かめに行くと、巫女に化けた長(於佐)壁狐たちの仕業でした。長壁狐は姫路城の守護神である刑部大明神の正体として知られており、一方では天守に住む妖狐とも言われ、宮本武蔵に退治されたと伝わります。

お化け退治

怖～い浮世絵

令和4年

7月16日(土)～9月4日(日)

【観覧料】600円※中学生以下無料

梶田半古「月下骸骨踊り」(部分) 明治期



幽霊とは、この世に恨みを残した死者が霊として再び現れ出る姿をいいます。幽霊も江戸時代以降、歌舞伎や落語に登場し、幽霊を描いた浮世絵も競って出版されました。「東海道四谷怪談のお岩」や「皿屋敷のお菊」、「累伝説の累」は特に人気がありました。

幽霊は肉筆画の作品も多く、恨みがましい視線に背筋がゾクツとすること間違いなしです。

恨めしや～…

静湖「地獄太夫図」明治中期

室町時代、和泉国堺(大阪府)の高須遊郭にいた遊女地獄太夫が髑髏から一筋の煙とともに現れています。太夫の帯には地藏菩薩と閻魔大王の模様が施されています。

最後のロウソクが消えたら…

百物語

百物語とは、伝統的な怪談会で、人々が集まって怪談話を代わる代わる話していき、一話話し終えるたびにロウソクを一本消していき、最後のロウソクを消すと本物の怪異があらわれるとされていました。百物語では、四世鶴屋南北作の歌舞伎「東海道四谷怪談」等で有名な「お岩」など、皆さんも一度は聞いたことのある話も話されました。

最後の一本が消え、暗闇になると、ほらあなたの後ろにも…



楊洲周延「形見草四谷怪談」明治17年(1884)

「東海道四谷怪談」の1シーンです。お岩は、夫の民谷伊右衛門に裏切られ、毒を飲まされました。まぶたは腫れあがり、髪の毛もごっそり抜け落ち、夫を恨みながらもだえ死んでしまいました。お岩の亡霊に祟られた伊右衛門はついには破滅してしまいました。

この作品は、提灯の絵をめくるとお岩が現れる「仕掛絵」になっています。

幽霊



歌川国貞(三代豊国)「見立三十六歌撰之内 累の亡魂」嘉永5年(1852)

農婦の累は顔が醜い上に嫉妬深かったため、夫の与右衛門に殺されてしまいました。その怨念により与右衛門の一族は祟られますが、祐天上人の祈りによって成仏しました。怪しげな炎とともに現れる累の霊は、四代目市川小団次の役者似顔になっています。画中には、藤原敏行の和歌が添えられ、累の出現の様子を秋の到来に見立てています。

家康と一向一揆

会期

令和5年 2月4日(土)～3月19日(日)

ただいま準備中

令和五年(二〇二三)のNHK大河ドラマ「どうする家康」にあわせ、安城市歴史博物館では「家康と一向一揆」の展示を来年の二月から開催する予定です。現在展示のための史料調査を進めているところです。その調査の一部を報告します。

私たち博物館の学芸員が展示を企画する際、まずはいくつかの展示テーマを皆で出し合い、市民や歴史に興味のある方に、見てもらいたい、知ってもらいたいものを選びます。選ぶ基準は様々ですが、その一つとして周年記念。つい最近では市制七〇周年や、終戦七五周年などです。次に市域や西三河に関するもの。中世では、本市の歴史上重要な浄土真宗や安城松平家、松平氏や家康の家臣が挙げられます。時代や分野のバランスも考えながら二年前から展示テーマを決めていきます。他の博物館では三、四年前から計画を立ててじっくりと進めていくのですが、当館は年五回の展示をしているため、短い時間で展示計画を進めています。今回の展示も昨年一月の大河ドラマの発表から決まったものですが、大河ドラマに関連する展示は当館としても特例の事です。

そのため今は準備の真っ最中です。昨年度末から進めています。が、県外の調査がコロナの影響などで少々遅れているのが現状です。

ただ、博物館は展示だけではなく、普及活動や研究、歴史に関する問い合わせ対応、市内で盛んに作られている「町史」「町誌」の支援なども行っています。安城市は非常に地域史研究が盛んな所

で、市内の昔の村を単位とした地区の歴史について、その地区の有志や町内会が執筆編集した本が刊行されています。

そして博物館が行う仕事の中で最も重要な館蔵品の収集もあります。寄贈された歴史や民俗に関する史料などの整理・保存も行っていて、この仕事が一番時間のかかる作業です。ただ、その作業がないと展示や普及・研究に必要な情報を得ることができず、博物館の展示においては必要不可欠な仕事といえます。

さて、弁解じみたことを語ってしまいました。が、今回の展示で現在の調査状況を報告します。

三河一向一揆とは

今回題材となる三河一向一揆は、矢作川下流域の安城市・岡崎市・幸田町・西尾市で永禄六年から翌七年(一五六三～六四)に起きた浄土真宗(一向宗)の本願寺派(当時)の一揆とされています。ちなみに、徳川家康の三大危機の一つに数えられています。未だ安定していない家康の領地内(領国)での戦いで、これに勝利した家康は三河一国の支配(奥三河の一部を除く)を順調にすすめ、戦国大名の仲間入りを果たしました。

一揆方の寺院は家康の領国内での禁教によって追放され、約二〇年後に赦されて戻ります。当時は、徳川家康と豊臣秀吉の争いがあったことも赦免の理由の一つとして考えられています。

一揆の具体的な動向は確実な史料が残っていないため解明は難しいのですが、当地域の寺には一揆に関する二次記録が残されています。安城市内では野寺町にある真宗大谷派の本證寺が一



本證寺境内(野寺町)

揆の拠点の一つであったことから、当時の史料を多く残しています。

また、当地域は三河一向一揆だけでなく、仏教宗派の中で浄土真宗、特に真宗大谷派が強いこともあり、真宗の仏教美術や、明治期の驚塚(大浜)騒動などを題材とした展示会も多く開かれています。御存知の方も多いかもしれませんが、実を申せば、三河一向一揆の展示は、平成二十五年(二〇一三)から翌年にかけて「三州に一揆おこりもうすー三河一向一揆四五〇年」を当館で開催しており、それ以前には岡崎市でも同様の展示会が催されています。となると今回の展示はなかなかのプレッシャーがかかります。

収蔵品の調査

三河一向一揆は当地域の出来事なので、今まで整理された収蔵品にも関連する史料がある可能性があります。まずは、足元にある史料の確認をしなければなりません。

これまで当館で開催した展示の際には市内・県内外で数多くの調査を行っています。時代によつては、関連する情報や画像が残っていて、その確認も必要です。

加えて、他館の関係する展示図録からは、展示物の情報や画像が掲載されているので、その把握も必要です。展示図録については、それだけではなく、展示の展開の仕方や内容についても参考にすることが出来ます。

地域情報の収集

また一向一揆の拠点となった三河三か寺の一つである本證寺だけではなく、安城市内には浄土真宗寺院や、矢作川周辺の同宗寺院、個人や地区に残されている文書史料、関連物品など、それまでの研究や調査などの情報を集める必要があります。小川の安政(市内小川町)の戦いで、一揆の大將のひとり本證寺空誓の身代わりとなって死んだ円光寺順正の碑など、直接対象先に出向く所在調査なども行います。



円光寺順正碑(市内小川町)

県外資料の調査

「家康と一向一揆」と題したこの展示は、三河一向一揆の事件だけにとどまりません。禁教時に追放された僧侶が石山合戦や各地の一向一揆に関わっていたこと、真宗赦免時の経緯から、家康の関東移封によって始まる江戸と三河の真宗寺院の関係、そして、慶長七年(一六〇二)に家康が東本願寺の自立をさせた東西分派まで、約四〇年間の対象とする予定です。つまり、当時の本願寺派

が家康とどのように関わっていたかを通史的に概観した展示となる予定です。

そのため、三河一向一揆が起きた場所だけではなく、県外も調査対象となります。

今年三月には、群馬県立歴史博物館の調査を行いました。この博物館には、同県前橋市にある真宗大谷派の妙安寺の史料が寄託されています。妙安寺は、もと下総国三村(現茨城県)にあり、川越(現埼玉県川越市)城主酒井重忠によって川越城下に移り、重忠の厩橋城(現群馬県前橋市)移封に伴い、前橋に移った寺院です。ここは宗祖親鸞ゆかりの寺院で、親鸞木像が残っていました。前述の東本願寺創建時に家康の命を受けた本多正信が仲介となり妙安寺から親鸞木像が東本願寺に贈られました。妙安寺にはそれに関わる史料が残されていて、今回は寺所蔵文書を調査、撮影を行いました。

今後も一向一揆関係の史料を各地に出向いて調査する予定です。大河ドラマでの三河一向一揆も展示と近い時期に放送されることを期待しつつ、準備にまい進していきたいと思っています。

文責 三島一信



本願寺教如判物(妙安寺所蔵)

調査時にはカラーチャートを入れ、卦算(けさん、ガラス文鎖)でおさえて撮影します。

風を感じて歴史を歩く11 梨の里小学校区

篠目梨団地

梨団地の場所には、かつて吾妻池があつたと言われています。吾妻池は近隣地域へ農業用水を供給する重要な溜池でしたが明治以降に埋め立てられ水田となりました。篠目梨団地は、昭和四十八年（一九七三）、篠目の生産者と県の普及員が中心となり三名で設立し、

共同管理をして梨栽培の技術発展に努めてきました。当初は、「長十郎」という品種を中心に栽培していましたが、次第に「幸水」中心へと変わっていき、現在は、安城の農家が品種登録をした「愛甘水」等、七月という早い時期から出荷できる梨も栽培しています。今でも安城は県内有数の梨産地で有名ですが、担い手の高齢化にともなう栽培農家の減少という問題に直面しています。篠目梨団地も今は八名で共同管理しています。この問題に



もなう栽培農家の減少という問題に直面しています。篠目梨団地も今は八名で共同管理しています。この問題に

梨園地から三河安城駅方面に向かいます。昭和六十三年の東海道新幹線・東海道本線三河安城駅の開業によつて周辺の街並みは大きく変貌しました。東海道本線三河安城駅の北口に神楽山公園があります。駅周辺は、慶応二年（八六六）神楽山騒動が起きた場所と言われています。



明専寺の本堂

神楽山騒動とは

神楽山騒動とは、江戸末期に起きた幕府に対する農民の反乱です。伊予田与八郎の水路計画に賛同した幕府や岡崎藩の役人が実地検分のために、この地にさしかかった時、水路計画に反対する福島、刈谷両藩の農民が竹槍や鎌をもつて数千人も集結していたと言われています。暴動をおさめようとした福島藩側の役人がけがを負いましたが、警護を強化し検分は継続しました。幕府は福島、刈谷両藩の村役人を呼び、水路建設に反対しないように事件の後始末をつけようとした。しかし、両藩の村役人は従わず、事件の処罰もされることがなく曖昧になりました。結果、幕府の権威がないことを示すことになりました。農民は水路建設による水害等の問題だけでなく、薪や草刈り場がなくなるということも危惧し、生活を守るための戦いであったとも言えます。

明専寺へ

三河安城駅から井杭山地内を通り過ぎ、小学校の北側の明専寺に向かいます。明専寺は、真宗大谷派の寺院です。明専寺の創建については、十五世紀の頃より、その前身となる道場があったのではないかと推測されますが、不明です。現在の本堂は、文政三年（八二〇）に再建され、天保五年（八三四）頃に伽藍の再建が完了したようです。

明専寺は、江戸時代末の文久年間（八六―八六四）から明治八年（八七五）頃まで篠目村の寺子屋として子供たちの教育にあたりました。また、戦前・戦後にわたり農繁期託児所として、幼児教育を担いました。安城町では、昭和三年より農繁期になると、方面事業助成会が安城町農会・安城町仏教会と合同して、町内六ヶ所の寺院で託児所を開設しました。

昭和四十年代にも、人口増加が一段と進む中、篠目町地には、保育園や幼稚園がない時期があり、五年間、農繁期託児所を開設しました。

SUMMER EVENT

歴博の夏は学べるイベント、楽しいイベントが盛りだくさん！

怖〜い浮世絵

記念講演会
関連イベント



盤礴居「妖怪線入り絵巻」(部分)

怖〜い落語会

[日 時] 9月3日(土) 14:00~
[出 演] お好味家喜楽氏(前座:永頃亭夢雀氏)
[場 所] 歴史博物館 講座室
[定 員] 30名(先着順)
[対 象] 小学4年生以上
[申込み] 8月13日(土) 9:00~電話受付

参加無料

怖〜い灯籠づくり

[日 時] 7月16日(土)~9月4日(日) 9:00~16:00
[場 所] 歴史博物館 エントランスホール
[定 員] 各日10個(先着順)
[対 象] 特別展観覧者
[参加費] 200円(材料費)
[申込み] 当日受付



怖〜いおはなし会

[日 時] 7月30日(土) 14:00~
[出 演] おはなしレストラン
[場 所] 歴史博物館 講座室
[定 員] 30名(先着順)
[対 象] 小学生以上
[申込み] 7月9日(土) 9:00~電話受付

参加無料

記念講演会「浮世絵のなかの妖怪たち」

[日 時] 7月17日(日) 14:00~
[講 師] 香川雅信氏
(兵庫県立歴史博物館学芸課長)
[場 所] 歴史博物館 講座室
[定 員] 30名(先着順)
[申込み] 6月26日(日) 9:00~電話受付

参加無料

クイズラリー 逃げたオバケを探せ

[日 時] 7月16日(土)~9月4日(日) 9:00~15:30
[場 所] 歴史博物館 エントランスホール他
[参加費] 1キット/100円
※特別展観覧料要(中学生以下無料)
[申込み] 当日受付



夏休みイベント



和太鼓の公演も同時開催!!

夏休み 歴史の専門家に相談しよう! 自由研究相談会

歴史関係の自由研究について、題材や調べ方をアドバイスします。親子での参加も歓迎。
※相談時間は最長30分まで



[日 時] 7月22日(金)・23日(土)・24日(日) 10:00~15:00
[会 場] 歴史博物館 体験学習室
[対 象] 小学3年生から中学3年生まで
[申込み] 7月10日(日) 9:00~電話受付
希望日時、調べたいテーマをお知らせください。
※相談会の枠が空いている場合、当日受付可



さとのマルシェ

飲食のキッチンカーから雑貨やクラフトの店舗まで集うマルシェを開催します。和太鼓のステージ公演も行います。(雨天の場合はステージ公演は中止)

[日 時] 7月16日(土) 10:00~15:00
[場 所] 安祥城址公園 協力:office JAPANICATION



オリジナル風鈴づくり

陶製の風鈴に自由に絵を描いて、オリジナルの風鈴を作ります。

[日 時] 8月6日(土) ①10:00~ ②13:00~
[場 所] 歴史博物館 体験学習室
[定 員] 各15名(先着順)
[費 用] 1個/400円(材料費)
[申込み] 7月17日(日) 9:00~電話受付



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員数・開催方法や日時・内容等を変更する場合がありますので、最新情報はHPにてご確認ください。

申込み・問合せ 歴史博物館 TEL:0566-77-6655

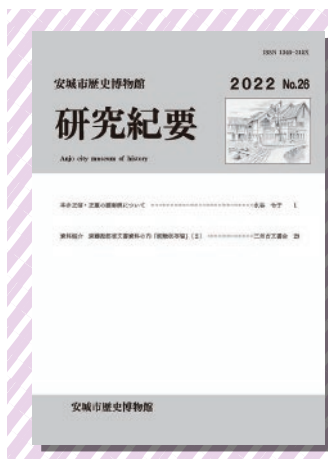
研究紀要No.26を発売

学芸員や研究者の研究報告を掲載する「研究紀要No.26」が発行されました。今回、紀要に収められているのは「本多正信・正重の顕彰碑について」と「資料紹介 斎藤勘郎家文書資料の内『御触状写留』(2)の二本です。」

「本多正信・正重の顕彰碑について」は、家康の重臣本多正信とその弟の碑が京都に建てられた背景、その後の経緯等について紹介しています。

「資料紹介 斎藤勘郎家文書資料の内『御触状写留』(2)」は、安城市内に数多く残される近世地方文書のひとつです。領主から村々へ出されたお触の内容がわかる貴重な資料で、前回に引き続き刈谷藩時代の五年分の資料を紹介しています。

ぜひ一読ください。



安城市歴史博物館受付にて販売しています。通信販売でも購入できますので、お問合せください。

安城市歴史博物館 TEL:0566-77-6655